

子どもの権利アンケート (小学4年生～中学3年生)

学校や友だちのこと、自分の将来のこと…
あなたの声を聞かせてください

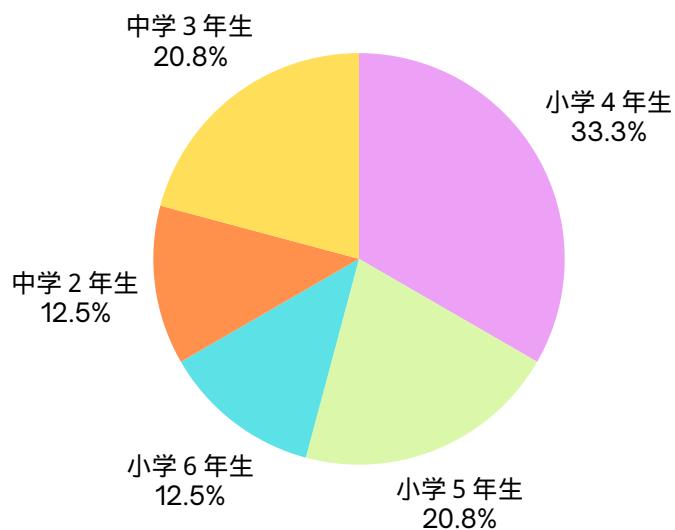
アンケートの目的

このアンケートは、「小都市こども計画」で「こども・若者に関する市の施策や制度の検討においては、当事者の意見を聞く機会をつくること」とされていることから、今後「小都市子どもの権利条例（仮称）」の検討を行うにあたって、子どもの意見を幅広く聴取するために行うものです。

種類	子どもの権利アンケート（小学4年生～中学3年生）
対象者	こどもトークベース＆ジュニアトークベースに参加した小学生・中学生 24人

アンケート結果

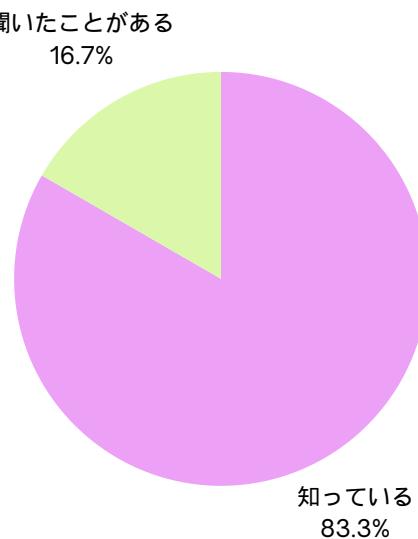
Q1. あなたは何年生ですか？



（小4:8人、小5:5人、小6:3人、中2:3人、中3:5人、計24人）

Q2. すべてのこどもには自分らしく成長し、幸せにくらせる権利があります。

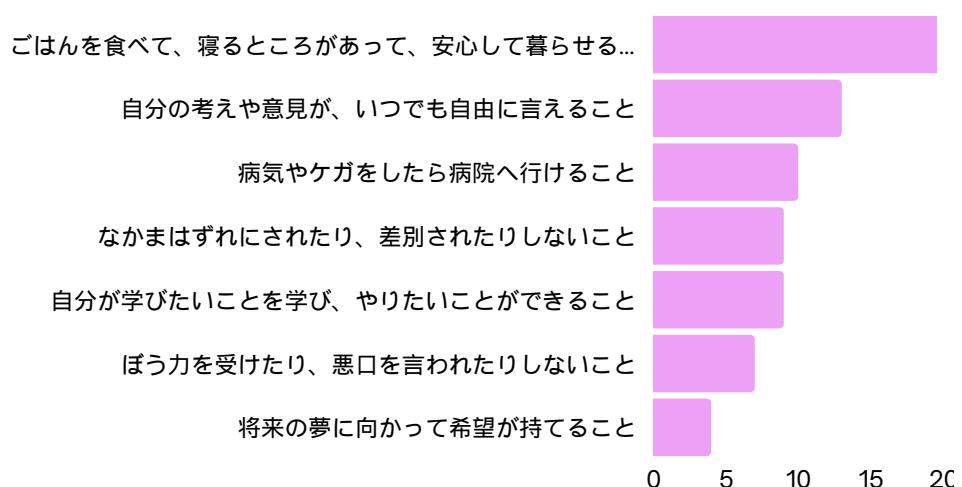
あなたはそんな「子どもの権利」を知っていますか？



(知っている20人、聞いたことがある4人、知らない0人、計24人)

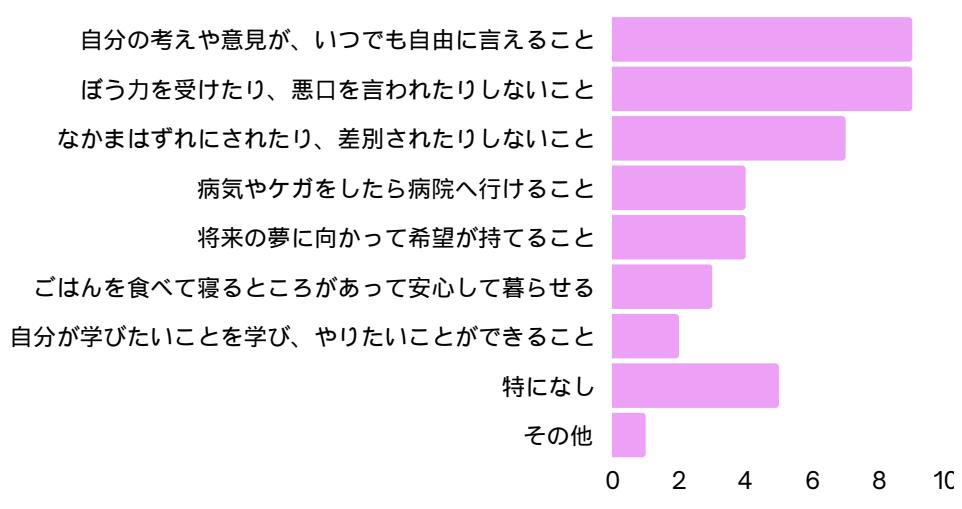
Q3. あなたが「子どもの権利」として、大切だと思うことはなんですか？

(あてはまるものを3つまで選んでください)



Q4. あなたが「子どもの権利」として、守られていない感じることはなんですか？

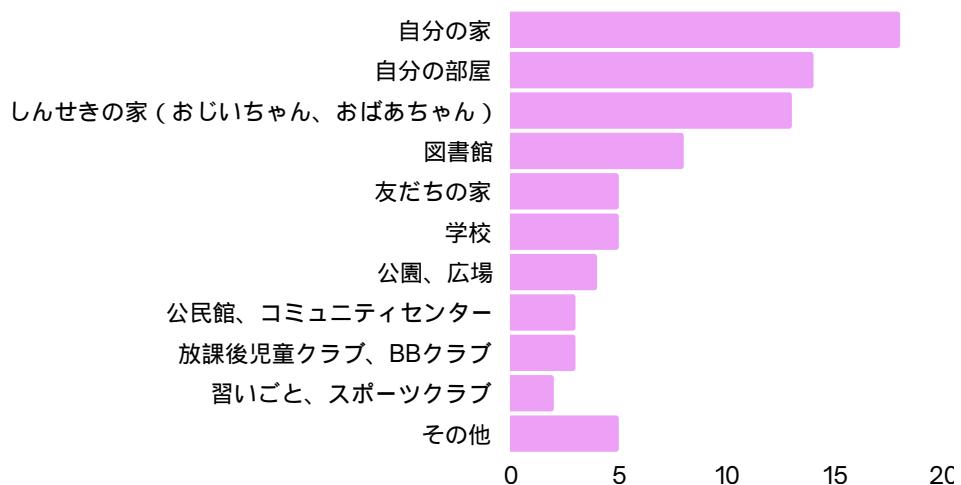
(あてはまるものを3つまで選んでください)



(その他:悪口を言われる)

Q5. あなたが好きな場所や安心できる場所はどこですか？

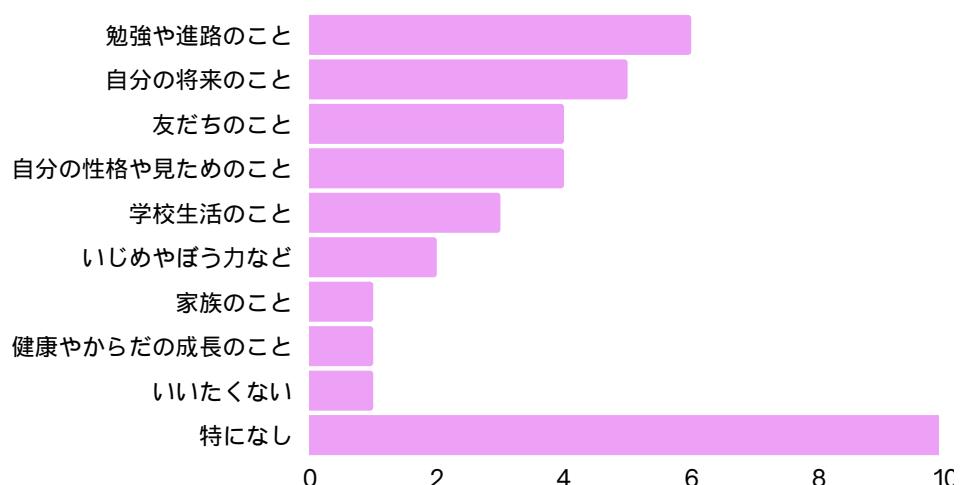
(あてはまるものをすべて選んでください)



(その他:体育館、部活動の部員と一緒に、仲の良い友達と一緒に、人が少ないところ、筑紫野イオン)

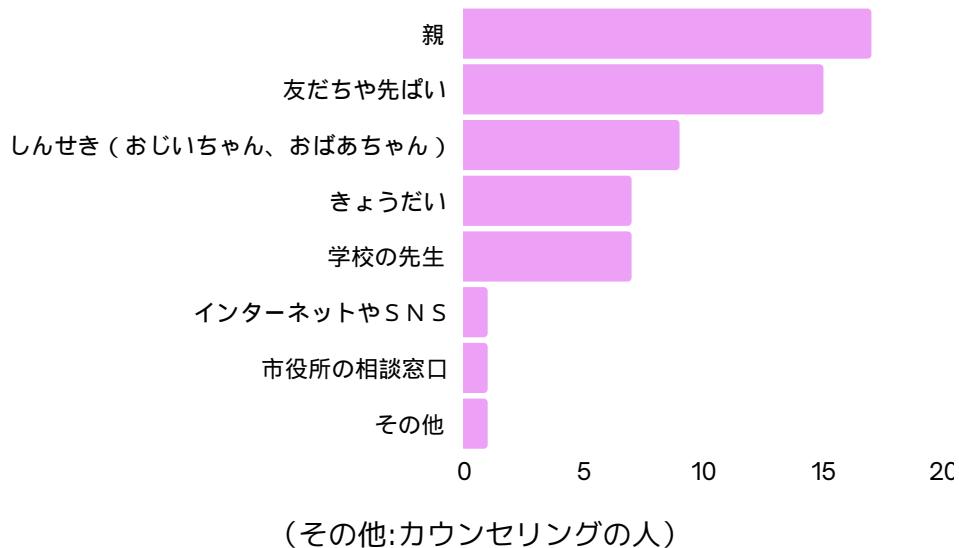
Q6. あなたはいま、困っていることや悩んでいることがありますか？

(あてはまるものをすべて選んでください)



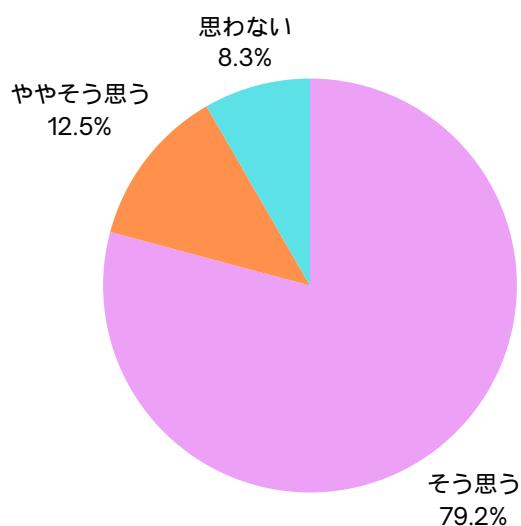
Q7. あなたは困ったり悩んだりしたとき、だれに（どこに）相談しますか？

(あてはまるものをすべて選んでください)



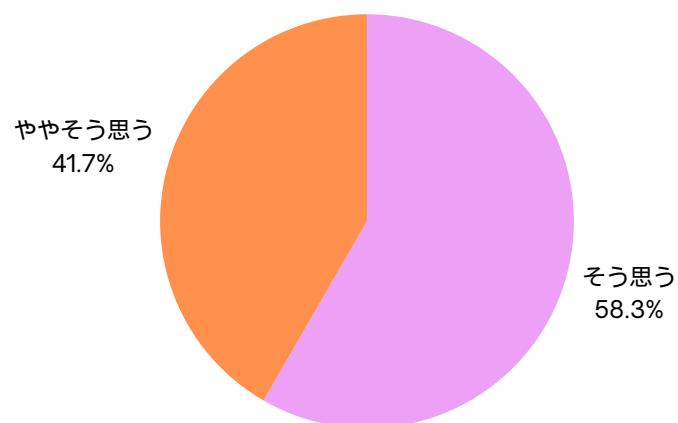
Q8.①～⑥について、今のあなたの気持ちを教えてください。

①あなたは「ひとりぼっちではない」と感じますか。



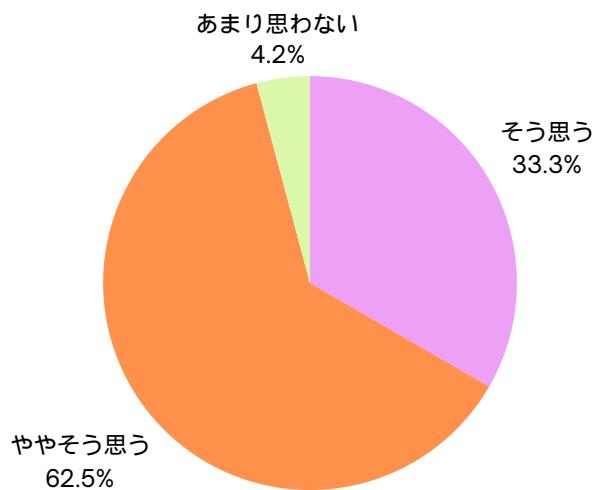
(そう思う19人、ややそう思う3人、思わない2人)

②あなたはまわりの人から大切にされていると感じますか。



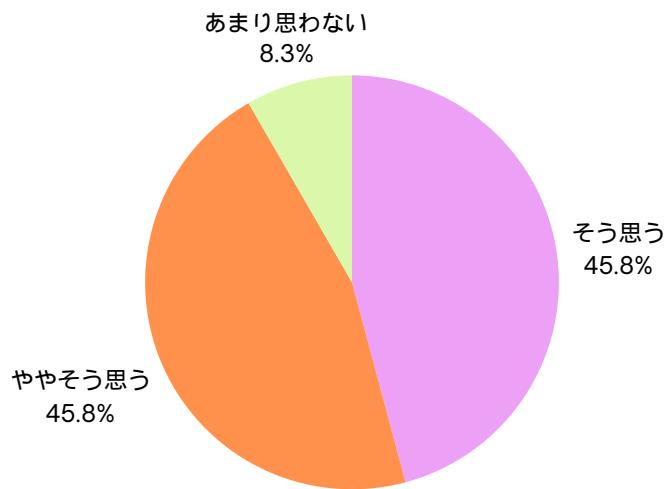
(そう思う14人、ややそう思う10人)

③まわりの人は自分の話をよく聞いてくれると思いますか。



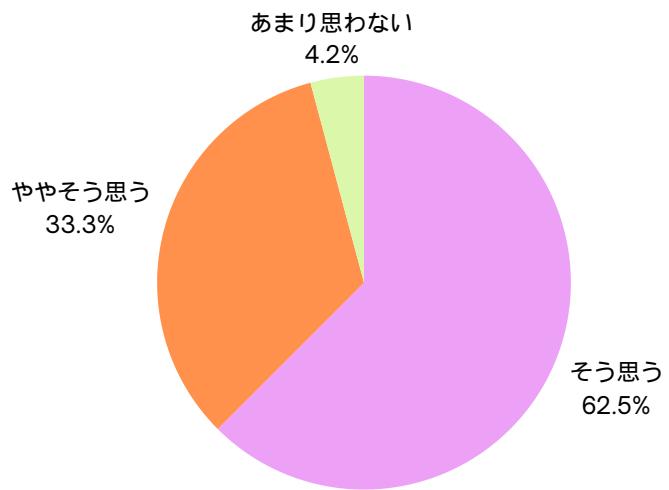
(そう思う8人、ややそう思う15人、あまり思わない1人)

④あなたは自分が好きですか。



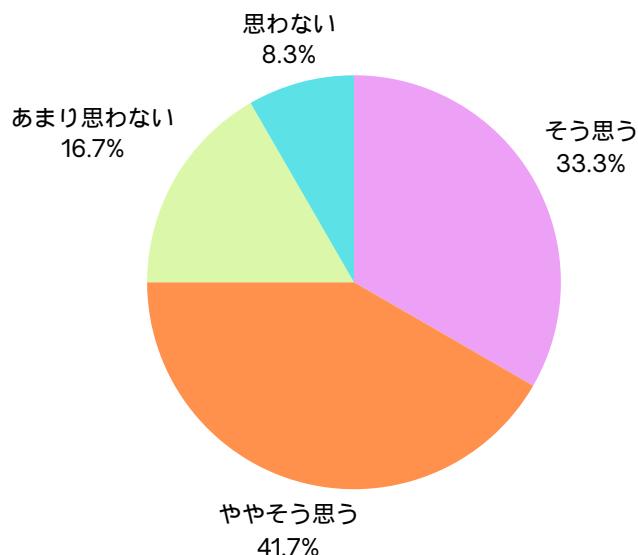
(そう思う11人、ややそう思う11人、あまり思わない2人)

⑤あなたは自分らしくすごすことができていますか。



(そう思う15人、ややそう思う8人、あまり思わない1人)

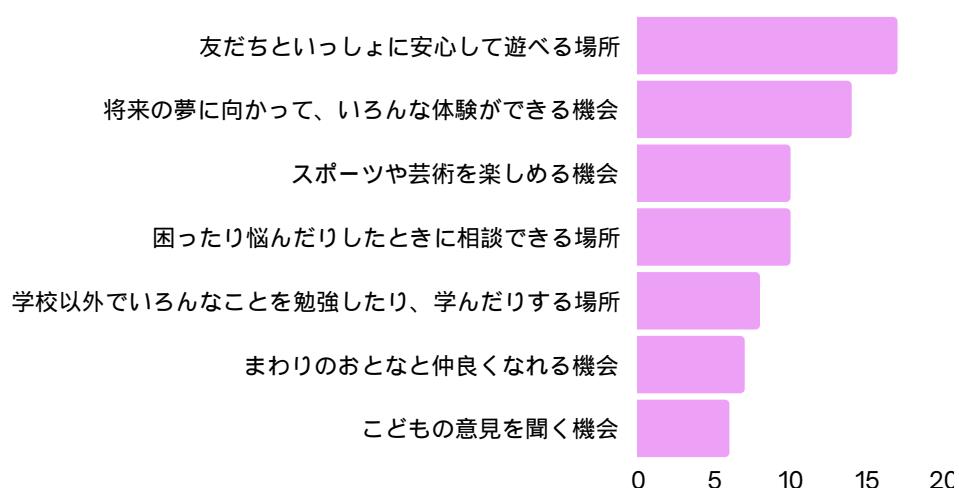
⑥自分の考え方や意見など自由に言いたいことが言えますか。



(そう思う8人、ややそう思う10人、あまり思わない4人、思わない2人)

Q9.あなたが自分らしく成長していくために、あつたらしいなと思うものはなんですか？

(あてはまるものを3つまで選んでください)



Q10.あなたが、今、おとなに一番伝えたいことはなんですか？（自由記載）

- ・もっと遊びに行きたい
- ・こどもも大切にしてほしい
- ・無意識に差別をすることをやめて
- ・生徒の意見も聞いて校則を見直してほしい
- ・ポイ捨てをしないでゴミ拾いをしてほしい
- ・もっとこどもに気配りや目を向けること
- ・こどものことをもっと気にかけてほしい
- ・一人一人が意識して物事に向き合わないとSDGsなどの目標は達成できない
- ・大人ですらいじめをスルーしたり自分もしているくせに、こどもの前でえらそうにするのはやめてほしい
- ・いつもありがとう
- ・人生が困難に楽しいことに感謝しています。みんなが協力しているからだと思う
- ・BBクラブが最高すぎる！

- ・だれか一緒にいてください
- ・意見をしっかり聞いて、受け止めてほしい
- ・こどもに注意する前に自分の行動を振り返ってほしい
- ・ずっとこのままの家族、このままの生活ですごして生きたい
- ・飲酒運転をやめること
- ・一人ひとりを大事にしてほしい
- ・政治にもっと関心を持ってほしい
- ・街灯をつけてほしい
- ・街を明るくしてほしい
- ・体育館に冷房をつけてほしい
- ・身長170cmを超えたいたい
- ・困ったことを何でも話せるところが増えてほしい

まとめ

このアンケート調査は「トークベース」参加者を調査対象としているため、幅広くこどものニーズ等を把握・分析するための基礎資料とすることは難しいが、こどもの声を直接聴取する機会になったと思われる。また「小郡市こどもの権利条例（前文）」の検討材料とすることができます。

「トークベース」は、親にも先生にも言えないような日ごろ感じていることを本音で話せる機会として、こどもたちにとっても居心地のよい場所になったのではないか。また、自ら話したいというこどもの想いを受け止める機会にもなったと思われる。今後も、このようなこどもの意見表明の機会創出に努めたい。